

すみだ 区議会だより

NO. 192

発行：墨田区議会事務局

130-8640墨田区吾妻橋一丁目23番20号 ☎5608-6352

http://www.city.sumida.lg.jp/kugikai/

2016.1.11

主な掲載内容	
●1面	平成28年 年頭のご挨拶
●2面	第4回定例会のもよう 代表質問 (自民党・公明党)
●3面	代表質問 (共産党・きずな)
●4面	代表質問 (民主党) / 意見書
●5面	一般質問 (5人) / 特別委員会の活動
●6面	常任委員会の活動
●7面	決算特別委員会のもよう
●8面	各会派の抱負 / 議決議案等と賛否の状況

区民の皆様には、健やかに新春を迎えられ、心からお慶びを申し上げます。また、新成人となられた皆様にお祝いを申し上げます。

昨年は、緩やかな景気回復の兆しもありましたが、本格的な回復には至らず、中小零細企業が多く集積する本区においては、なかなか景気の回復を実感することができない年でした。一方、東京スカイツリーの開業から3年を迎えた5月には、人口が26万人を超えるなど、すみだの魅力が高まる中で、これまで以上に区民の皆様のニーズに的確に応えた施策の実現が強く求められています。

さて、本年は、墨田区の最上位の行政計画である「墨田区基本計画」を新たに策定する予定となっており、夢のある将来を見据えたまちづくりがスタートする大事な年でもあります。

こうした中で、区議会は、議会の機能を最大限に発揮するとともに、より開かれた議会を目指して、議会活動の一層の活性化を進めているところであります。これからも、区民の皆様が安全で安心して住み続けられる墨田区を目指して、全力で取り組んでまいります。

本年が皆様にとりまして、実り多き年となりますように、心からご祈念申し上げます。

区民の皆様には、健やかに新春を迎えられ、心からお慶びを申し上げます。また、新成人となられた皆様にお祝いを申し上げます。

昨年は、緩やかな景気回復の兆しもありましたが、本格的な回復には至らず、中小零細企業が多く集積する本区においては、なかなか景気の回復を実感することができない年でした。一方、東京スカイツリーの開業から3年を迎えた5月には、人口が26万人を超えるなど、すみだの魅力が高まる中で、これまで以上に区民の皆様のニーズに的確に応えた施策の実現が強く求められています。

さて、本年は、墨田区の最上位の行政計画である「墨田区基本計画」を新たに策定する予定となっており、夢のある将来を見据えたまちづくりがスタートする大事な年でもあります。

こうした中で、区議会は、議会の機能を最大限に発揮するとともに、より開かれた議会を目指して、議会活動の一層の活性化を進めているところであります。これからも、区民の皆様が安全で安心して住み続けられる墨田区を目指して、全力で取り組んでまいります。

本年が皆様にとりまして、実り多き年となりますように、心からご祈念申し上げます。

平成28年
年頭にあたって
迎春



墨田区議会議長
樋口敏郎



墨田区議会は本紙上をもって
新年のごあいさつとさせていただきます。
あわせて新成人の皆さまに
お祝い申し上げます。



墨田区議会議員(議席番号順)

 井上 ノエミ (新すみ)	 渡田 ちしゅう (維新党)	 はねだ 福代 (公明党)	 しもむら 緑 (自民党)	 佐藤 篤 (自民党)	 松本 ひさし (自民党)	 村本 ひろや (共産党)	 坂井 ユカコ (自民党)
 とも 宣子 (公明党)	 副議長 福田 はるみ (自民党)	 中沢 えみり (自民党)	 加藤 拓 (自民党)	 としま 剛 (共産党)	 あさの 清美 (共産党)	 堀 よしあき (民主党)	 大瀬 康介 (墨田才)
 沖山 仁 (自民党)	 議長 樋口 敏郎 (自民党)	 はら つとむ (共産党)	 西村 孝幸 (きずな)	 あべ きみこ (民主党)	 おおこし 勝広 (公明党)	 じんの 博義 (公明党)	 高橋 正利 (公明党)
 高柳 東彦 (共産党)	 田中 哲 (きずな)	 千野 美智子 (公明党)	 加納 進 (公明党)	 瀧澤 良仁 (自民党)	 坂下 修 (自民党)	 木内 清 (自民党)	 田中 邦友 (自民党)

平成27年 第4回定例会

墨田区立図書館条例を修正可決

墨田区議会は、平成27年第4回定例会を11月27日から12月11日まで開きました。11月27日・30日の本会議では、各会派の代表質問を行いました。また、30日の本会議では、代表質問終了後、「職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」を含む議案2件を原案どおり可決したほか、平成27年11月29日付けで任期満了となつた墨田区選挙管理委員及び同補充員の選挙を行いました。12月1日の本会議では、5人の議員が一般質問を行いました。歳入歳出決算4件を認定しました。12月11日の本会議最終日は、区長から提出された議案のうち「墨田区立図書館条例」を修正した上で可決し、「墨田区立図書館条例を廃止する条例」など32件を原案どおり可決しました。また、陳情1件を不採択としたほか、議員提出議案1件を原案どおり可決しました。

代表質問

区政を問う!

来年度の予算編成では、区長のカラーを象徴する新基本計画事業の反映を



自由民主党 加藤 拓

問

①平成28年度は、現在策定中の新基本計画の初年度であり、区長にとって初めての本格的な予算編成を行う年度である。区長がリーダーシップを発揮し、必ず実現するという強い意志を反映させた象徴的な事業を最初の予算編成で設定することが、今後の区政運営において重要になると考える。現在の予算編成の段階で、「山本カラー」を象徴する新基本計画事業があれば伺う。②平成26年度決算においては、財政が健全化に向かってはいるが、財政が健全化に向かっている兆しがわずかに見えるが、依然として歳入環境は厳しい状態にあり、行財政改革の取組を進める必要がある。来年度を初年度とする行財政改革実施計画では、具体的にどの程度の歳出抑制を目

答

①新基本計画については、新たな施策体系図案のもと、創造性を働かせ、発想の転換を図った事業の検討に入っている。これまで墨田区基本計画調査特別委員会で行った多くの意見、要望を参考にしながら、私

標としているのか伺う。③本区は受益者負担比率が非常に低い水準になっている。福祉的な施策については十分な配慮を要するが、公平性の担保と歳入の確保の観点から、早期の適正化を検討すべきである。④我が会派は、明確な根拠に基づく適正な基金残高と特別区債残高の表明を繰り返し求めてきた。新基本計画の策定までに、具体的な数値と根拠の表明を約束することを求める。

問

①知・徳・体のバランスのとれた、子どもたちの育成を推進する」と所信表明で述べた。②「知」について、子どもたちの学力の当面及び将来的な数値目標として教育長はどの水準を目指すのか。③「徳」については、道徳教育全般の進め方をどのように考えているのか。④「体」については、学校教育にとどまらない着実な基礎体力の向上に取り組むため、学校施設以外の公共施設への必要な設備の設置について、積極的に区長部局へ申入れを行うっていく姿勢を求める。

答

①今年度中に「新たな学力向上3か年計画」を策定し、当面及び将来的な数値目標等を明らかにしていく。②いじめ問題を契機に学習指導要領が改訂され、これまでに「考え、議論する」ことが重要視された。郷土史を含んだ副読本「私たちの墨田」や本区にゆかりのある葛飾北斎を

平成28年度の予算編成及び区政運営の基本指針について問う



公明党 おおこし 勝広

問

①公共施設マネジメント実行計画では「計画的な予防保全による施設の長寿命化」が掲げられている。この長期保全計画はどのような形でどの時期に示されるのか。②施設設備の保全計画も示し、来年度は設備保全の緊急計画を立てるべき。③稼働率の低い施設は、使用料の見直しや減免要件の拡大等、工夫するべき。④観光シーズンなどに特化した形で、区内循環バスと台東区のコミュニティバスの広域連携を試験的に実施すべき。⑤総合的な子ども貧困対策を講じるための実態調査を実施すべき。⑥生活困窮者の学習支援事業の対象者を、中学生だけでなく小学生にも拡大し、対象人数の拡

答

大にも前向きに検討すべき。⑦「子供の未来応援プロジェクト」のサイトとリンクを張り、悩んでいる人がインターネットを介して支援のヒントを受けられる体制づくりをすべき。⑧スクールソーシャルワーカーを増員し、アウトリーチ(訪問支援)活動を強化する。⑨教員が子どもの貧困対策に対して敏感に察知するゲートキーパーとしての役割を果たすよう、教員研修にも力を入れるべき。

問

①財政負担の平準化を図りながら修繕の優先順位も考慮し、実効性の高い修繕計画にしたい。公表等については今年度中に議会に示す。②この計画では設備保全も重要である。予防的な保全を図りながら、緊急性の高い工事は優先順位をつけて実施していく。③稼働率が低い要因を検証した上で、来年度の施設使用料見直しの中で検討する。④区内循環バスを活用した期間限定の広域連携も、観光利用促進への有効手段と考えるので、台東区と相談していきたい。⑤他の自治体の例も参考にしながら、区独自の調査について検討したい。⑥低年齢層の児童には、実施方法等も考慮の上、新たな支援を検討していく。中学生に対する人数の拡充も、来年度実現できるように検討していく。⑦区のホームページにリンクを張り、インターネットを介して支援のヒントを受けられるようにしていく。⑧配置については充実する必要がある。⑨今後は貧困対策の視点も意識させる研修プログラムも取り入れ、ゲートキーパーの役割を担う教員の育成を図っていく。

答

はじめとする偉人の生き方を通して、道徳性の育成を図っていく。③身近にある公園等の公共施設への設備の設置は、体力向上の視点から、必要に応じて区長部局に申入れをしたい。

問

在宅での子育て支援の拠点として、両国と文花の子育てひろばは有効だが、区内全域の方が利用しやすいように、早期の増設を求める。

答

子育て支援総合センターや児童館も支援拠点に位置付け、増設は必要に応じて検討していく。

問

区内循環バスは観光客の利用が非常に少ない。住民利便性の向上と観光利用の増大を目的として、抜本的な見直しを含めた対応を求める。観光回遊を主目的に事業認可を取得したので、まず観光客の利便を図るための対策を充実していく。

答

この計画では設備保全も重要である。予防的な保全を図りながら、緊急性の高い工事は優先順位をつけて実施していく。③稼働率が低い要因を検証した上で、来年度の施設使用料見直しの中で検討する。④区内循環バスを活用した期間限定の広域連携も、観光利用促進への有効手段と考えるので、台東区と相談していきたい。⑤他の自治体の例も参考にしながら、区独自の調査について検討したい。⑥低年齢層の児童には、実施方法等も考慮の上、新たな支援を検討していく。中学生に対する人数の拡充も、来年度実現できるように検討していく。⑦区のホームページにリンクを張り、インターネットを介して支援のヒントを受けられるようにしていく。⑧配置については充実する必要がある。⑨今後は貧困対策の視点も意識させる研修プログラムも取り入れ、ゲートキーパーの役割を担う教員の育成を図っていく。

障害者差別解消法施行に伴う区の対応について

問

①手話通訳者等のボランティアのスキルアップや人材育成への支援を強化する必要がある。②地域の防災訓練と障害者のための災害対応力強化事業との連携実施も可能ではないか。③文部科学省が告示した対応方針についての見解及び具体的対応について伺う。④車椅子利用の児童・生徒に対する就学についてどう対応しているのか。⑤視覚障害者等に向けた公立図書館の対応について伺う。

答

①社会福祉協議会と連携しつつ、発掘・育成・スキルアップにも力を入れていく。②来年度、モデル町会で地域との連携の検討を進める際に、働きかけていく。③同方針を踏まえた取組を進めていきたい。本人や保護者等と十分相談し、通常学級や通級指導学級等、多様な学びの場を提供することが望ましい。④就学相談を通じて、保護者の意向も踏まえ、本人に最適な教育環境の提供に努めている。⑤視覚障害者のニーズに沿った資料提供を基本とし、時期も含めて電子書籍の導入を検討していきたい。

問

小学校3年生から音楽・体育図工等の授業で、担当教員と英語のできる方との研究事業を始めてはどうか。

答

学習指導要領の改訂に基づき、英語活動の時間的拡大が見込まれるため、今後研究していきたい。

問

英会話のできる人材の確保や予算面の課題については、英語教育ボランティア等を募ってはどうか。

答

英語を話せる人がゲストティーチャーとして学校訪問する取組などを検討していきたい。

問

直接、英会話に触れる機会がでる。この課外授業等を取り入れてはどうか。

答

これまでの課外授業等の取組を工夫する等、教科化に向けて検討する。

墨田区保育所等整備計画の 白紙撤回を強く求める



日本共産党
としま 剛

問

①保育所等整備計画は、すみだ
幼保小中一貫教育推進計画に沿
って中学校区の各ブロックに保育園1
園ずつを基幹園として設置するとい
うものだが、保育所等整備計画でも基幹
園の役割が明確に示されていない。ブ
ロック内の保育園数にばらつきがあり、
ブロック内に存在しない園を基幹園に
指定していることについて伺う。②公
共施設白書で「今後統廃合を検討する
施設」に位置付けられた保育園が基幹
園10園の中に5園もあり、白書との整
合性がないのでは。③子ども・子育て
支援ニーズ調査では、認可保育園の希
望が41・3%で最も高く、認定こども
園は11・8%である。なぜ認可保育園
をなくしてまで認定こども園をつくら
なくてはいけないのか。④区は保育所
等整備計画について「多様化する保育
ニーズへの的確な対応とともに、継続
的・安定的な保育サービスの提供を目
的とする」と言っているが、経費削減
を最大の目的としたもので、保育の質
の低下を招き、区の公的保育を解体し
かねない計画だ。このような計画は白
紙撤回することを強く求める。

答

①ブロック内の保育園・幼稚
園・小学校・中学校では、共通
のねらいのもと連携・交流して子ども
たちを育てていく取組を実施している。
今後、保育園・幼稚園から小学校への
円滑な接続を図り、子どもたちが小学
校での安定した学校生活を築くために
は、幼保小中一貫教育推進計画のブロ
ック分けを活用することが適切である
と判断した。各ブロック内に、センタ
ー機能や他園とのパイプ役を担う基幹

問

①区長は、子育てのしやすいま
ちを目指す区の決意を表すた
め、「イクボス宣言」と「自治体首長
の子育て応援宣言」を23区で初めて行
った。その際、「イクボスの取組は区
内の事業所でも取り入れてほしい」と
述べられたが、我々はこの区長宣言を
全面的に支持し、協力したいと考えて
いる。このイクボス宣言を区民運動と



すみだの絆
田中 哲

区長の「イクボス宣言」を 区民運動として区全体で取り組むべき

きない違反是正などの業務を強化でき
るようになった。建築確認の完了検査
の実施率向上など、民間開放による改
善効果があるので、国へ改善を要望す
る考えはない。②民間確認検査機関の
審査内容に疑義が生じた場合は、必要
に応じて是正指導を行っているので、
現行の体制の中で対応していく。

問

①杭打ち工事におけるデータ偽
装事件の背景には、建築確
認・検査を民間に開放した建築基準法
の改悪がある。国・自治体は、再発防
止に向けて建築確認・検査の体制整備
などの改善を図ることが求められる。
これらの改善について、国や関係機関
に強く働きかけるべき。②区の開発指
導要綱などの対象建築物については、
区が一定の関与をしている。中間検査
も含めて区の監督強化が求められてお
り、条例制定の検討、建築主事の増
員・育成などの体制強化が重要である。

答

①建築行政の民間開放は、官民
の役割分担の見直しにより、建
築行政の確実な執行体制を確
保するために行われたものである。こ
れにより特定行政庁は、行政でしかで
ないことではある。

問

①イクボス宣言の区内事業所
での取組については、東京商工会
議所墨田支部の協力のもとでワーク
・ライフ・バランスセミナーを実施して
いるので、このような機会を通じて働
きかけていく。②「おもてなし」と
「定住促進」につなげるねらいで、私
自身の発案として、「いい夫婦の日」
に記念撮影ができるコーナーを設置し
た。さらに、希望した夫婦には、区報
をデザインした台紙に職員が撮影した
写真を印刷してプレゼントした。ご提
案の、全ての新婚カップルへの写真撮

影については、希望するカップルなど
来庁する多くの方が自身で撮影できる
コーナーを設置していく。③平成12年
に「すみだ やさしいまち宣言」を行
って以降、大人も子どもも進んであ
いさつすることを行動指針の一つとし
て位置付け、啓発を行ってきた。その成
果として、児童の登下校の見守りを行
う中での「あいさつ活動」に結びつい
ている。今後は、東京オリンピック・
パラリンピックを見据えて、小・中学
生向けの「おもてなしプロジェクト」
を実施していくなど、実践活動に発展
させていきたい。

問

①イクボス宣言の区内事業所
での取組については、東京商工会
議所墨田支部の協力のもとでワーク
・ライフ・バランスセミナーを実施して
いるので、このような機会を通じて働
きかけていく。②「おもてなし」と
「定住促進」につなげるねらいで、私
自身の発案として、「いい夫婦の日」
に記念撮影ができるコーナーを設置し
た。さらに、希望した夫婦には、区報
をデザインした台紙に職員が撮影した
写真を印刷してプレゼントした。ご提
案の、全ての新婚カップルへの写真撮

答

影については、希望するカップルなど
来庁する多くの方が自身で撮影できる
コーナーを設置していく。③平成12年
に「すみだ やさしいまち宣言」を行
って以降、大人も子どもも進んであ
いさつすることを行動指針の一つとし
て位置付け、啓発を行ってきた。その成
果として、児童の登下校の見守りを行
う中での「あいさつ活動」に結びつい
ている。今後は、東京オリンピック・
パラリンピックを見据えて、小・中学
生向けの「おもてなしプロジェクト」
を実施していくなど、実践活動に発展
させていきたい。

問

協治（ガバナンス）の担い手と
して、町会・自治会組織は必要
欠くべからずの存在だと考える。今後
ますます共助の役割が大きくなるが、
本区の最大の強みである町会・自治会
組織が弱体化していることは明らかで
ある。この際、町会・自治会支援に関
する特別プロジェクトチームを、町
会・自治会の代表者を入れた上で、区
長直属の下に庁内につくってみてはど
うか。地域力日本一のまちづくりを公
約に取り組み区長の考えを伺う。

答

町会・自治会は協治（ガバナン
ス）の担い手として、地域コミ
ュニティにおいて重要な役割を果たし
ている。町会・自治会の活性化に資す
る更なる支援の方法について、時代の
変化に即応した見直しを行っていく。
また、町会・自治会支援の体制につ
いては、所管部がまず対応するとともに、
現在のコミュニティラインの更なる充
実を図り、適切に対応したい。

問

町会・自治会掲示板等へのポ
スター掲示に加え、区のホームペ
ージ等で多くの区民に周知し、参加者
の増加と防災訓練の活性化につなげる

答

町会・自治会掲示板等へのポ
スター掲示に加え、区のホームペ
ージ等で多くの区民に周知し、参加者
の増加と防災訓練の活性化につなげる

問

卒業式・入学式の休日実施につ
いての考えを伺う。
子どもの晴れの姿を見たいとい
う保護者等の心情も理解できる
が、儀式的行事のねらいを達成する
という観点とのバランスを考慮しながら、
園長会や校長会と検討していきたい。

答

卒業式・入学式の休日実施につ
いての考えを伺う。
子どもの晴れの姿を見たいとい
う保護者等の心情も理解できる
が、儀式的行事のねらいを達成する
という観点とのバランスを考慮しながら、
園長会や校長会と検討していきたい。

墨田区選挙管理委員 を選出

墨田区議会では、墨田区選挙管理委
員及び同補充員が平成27年11月29日
任期満了となったことから、11月30日
の本会議において選挙を行いました。
その結果、次のとおりそれぞれ4人の
方々が当選しました。

- 墨田区選挙管理委員
出羽 邦夫氏
松本 紀良氏
北村 研一郎氏
松野 弘子氏
- 墨田区選挙管理委員補充員
山本 浩氏
伊藤 昌男氏
細田 一夫氏
木村 忠二氏



本会議場での投票の模様

障害者差別解消法の推進には 行政の取組が重要である



民主党
堀 よしあき

問 平成28年から施行される障害者差別解消法では、不当な差別的取扱いの禁止と障害者への合理的配慮の不提供の禁止が定められている。一方、平成24年に内閣府が行った世論調査で約9割近くの方が「世の中には障害がある人に対して障害を理由とする差別や偏見がある」と答えている現状は、危惧すべき問題である。同法を有効なものとするためにも行政の取組が重要になってくると考えるが、次の5点について伺う。①同法について、区は今後どのように周知していくか。②事業者等が同法の規定を守らなかった場合に、区はどのように対応するか。③負担が過重である場合には、合理的配慮を行わなくても差別にならないと定められているが、どのような場合が過重になると想定しているか。④区職員には、どのような指導を行っているか。⑤教育現場でも同法が適用される場面が想定されるが、児童・生徒にはどのような教育を行っているか。

ような場合には、施設改修等に合わせ、整備を進めていく。④これまでに全課を対象として説明会を開催した。今後は職員対応要領を定めて徹底していく。⑤同法の目的に係る教育は、現在、道徳教育や人権教育などを中心に行っているが、障害などを理由とする差別や偏見に関する現状も踏まえて、法の理解や態度の育成を推進していく。

「育児パッケージ(こども商品券)」の配布に当たっては子育て支援メニューのPRを

問 本区では、今年11月から妊娠の届出の際に専門職が面接し、心身の状態や家庭の状況を把握して必要なサービスにつなげており、面接を行った妊婦に対しては、育児負担軽減として子育て家庭に必要な物品の購入等

のために「育児パッケージ(こども商品券)」1万円分を配布している。育児パッケージの利用対象に児童養育家庭ホームヘルプサービスや一時預かり等の子育て支援サービスの提供を加えることで、子育て支援メニューのPRや利用促進につなげることができると思うが、区長の考えを伺う。

答 妊娠届を提出した全ての妊婦に保健師や看護師などの専門職が面接する「ゆりかご・すみだ事業」を平成27年11月から開始している。既に300人以上が利用しており、子育て支援サービスについても案内ができ好評を得ている。育児パッケージの種類や配布方法については、区民の声を聞き、効果を見ながらどのような形が望ましいか検証していく。

答 ①障害者差別解消法の施行に合わせ、区のお知らせやホームページを活用し、広く一般区民や事業者、障害者に法の趣旨や内容をPRしていくとともに、区独自のパンフレットの作成・配布やシンポジウム、講演会の開催により啓発に努める。②区に相談窓口を設置し、必要に応じて事業者等に改善の協力を求めたり、更に必要があれば法に基づく指導勧告権限を持つ国の機関等につないでいく。③想定される過重な負担として、例えば老朽施設におけるエレベーター設置等のハード整備を伴うものが考えられる。この

教員の労働環境に光を当てる必要がある

問 ①公立小・中学校における教職員の時間外勤務について、文部科学省が行った調査によれば、労働基準法で定める1日8時間以内の労働時間をはるかに超えている。教職員現場の労働環境をどのようにとらえているか。②文部科学省は、平成27年7月に業務改善ガイドラインを全国の教育委員会に通知したが、それを踏まえて、どのような対応を行っているか。

答 ①学力や体力の向上、心の教育など、多様かつ多岐にわたる教育課題の増大に伴う時間外勤務の実態が明らかになった。今後も、学校行事の精選や会議時間の短縮等を各校に指導し、校務改善推進による軽減措置の啓発を推進していく。②通知表、指導要録の作成等については、校務環境のICT化により一定の改善を図っている。今後も、ガイドラインに示されている改善の方向性、留意すべき観点を踏まえながら積極的に業務改善を推進していく。

意見書(要旨)

マイナンバー制度に係る財源確保等自治体の負担軽減に関する意見書

墨田区議会は、政府に対し、次の事項について自治体負担の軽減のために特段の配慮をするよう強く要望します。

- 1 地方公共団体情報システム機構に支払う交付金全額を国の負担とし、十分な予算措置をすること。
- 2 同様に、事務処理に必要な人員の確保やシステム整備経費など、全額を国の負担とし十分な予算措置を行うこと。
- 3 地方自治体の予算編成等に支障が出ないよう、補助金交付やシステム改修フローなど、必須の情報を適時適切に提供すること。
- 4 配達できなかった簡易書留郵便(マイナンバー通知)の受取人の所在調査に要する経費の負担軽減を図ること。
- 5 マイナンバー制度導入時の混乱に乗じた詐欺の防止や個人番号カードの交付などの周知広報に対する支援を実施すること。

【第1回定例会の会議日程(予定)】

会議名	開会時間	傍聴席
2月10日(水曜日)	午後2時	17階
2月15日(月曜日)	午前11時	
2月17日(水曜日)	午後1時	19階
2月24日(水曜日)	午前11時	17階
2月25日(木曜日)	午後1時	19階
2月26日(金曜日)		
2月29日(月曜日)		
3月2日(水曜日)		
3月3日(木曜日)	午前10時	17階
3月4日(金曜日)		
3月7日(月曜日)		
3月8日(火曜日)		
3月9日(水曜日)		
3月11日(金曜日)		
3月14日(月曜日)		
3月15日(火曜日)	午後1時	17階
3月17日(木曜日)		
3月22日(火曜日)		
3月23日(水曜日)		
3月24日(木曜日)		
3月29日(火曜日)	午前11時	19階
3月30日(水曜日)	午後1時	

※この会議日程は予定ですので、変更が生じる場合があります。

行政調査の受入れ状況(平成27年下半年)

墨田区議会では、議会関係者の行政調査の受入れを積極的に進めています。平成27年下半年に、37の自治体が行政調査に訪れています。

来訪日	自治体名/調査項目	
7月	16日 愛知県岡崎市 木密地域不燃化10年プロジェクト推進事業について	
	24日 三重県四日市市 中小企業振興施策について	
	27日 東京都荒川区 東京スカイツリー付近のまちのにぎわい状況について	
		石川県野々市市 墨田区立ひきふね図書館などについて
		30日 山口県岩国市 中小企業振興基本条例の制定などについて
8月	4日 愛知県小牧市 墨田区立ひきふね図書館について	
	宮崎県宮崎市 重症心身障がい児の支援事業について	
	6日 愛知県長久手市 民間資金を活用した公共施設整備(資金調達の手法等)について	
	10日 東京都あきる野市・昭島市・台東区・中野区 保育士宿舎借上げ事業補助金制度について	
	21日 愛知県豊田市 外国人観光客の受入促進などについて	
	26日 山口県下関市 墨田区総合体育館について	
		福岡県嘉麻市 地域ブランド戦略と中小企業振興について

来訪日	自治体名/調査項目
9月	30日 東京都板橋区 墨田区における中小企業振興策について
	10月
佐賀県有田町 防災対策について	
6日 三重県津市 雨水利用について	
7日 北海道江別市 すみだ地域ブランド戦略の推進について	
14日 鹿児島県鹿児島市 認知症サポートなどについて	
15日	宮崎県宮崎市 墨田区子ども・子育て会議について
	愛知県刈谷市 防災施策について
	愛知県碧南市 議会運営について
	徳島県徳島市 外国人観光客の受入促進について
	21日 兵庫県尼崎市 協治推進条例の制定と地域プラザの整備・運営について

来訪日	自治体名/調査項目	
10月	23日 愛知県日進市 老朽建物等の適正管理の推進について	
	28日 岡山県 「産業観光プラザ すみだまち処」について	
	29日 新潟県三条市 地域プラザの整備・運営について	
11月	岡山県岡山市 吾妻橋フェスト及び隅田川水辺空間を活用した取組について	
	11日 徳島県徳島市 地域における小さな図書館のビジネスモデルについて	
	12日 静岡県駿東郡町議会議長会 墨田区議会の概要、議場・委員会室の貸出しについて	
	16日 愛媛県新居浜市 老朽建物等の適正管理の推進について	
	24日 静岡県下田市 墨田区立ひきふね図書館について	
		宮城県仙台市 本所地域プラザ「BIG SHIP」現地視察について
		12月 21日 福岡県北九州市 外国人介護ヘルパーのための日本語教室について

すみだ北斎美術館開館後の運営が重要である



維新の党 滝田 ちしゅう

葛飾北斎の作品を約1300点所有している「信州小布施北斎館」のある長野県小布施町に視察を行った際、町長に表敬訪問を行った。是非、山本区長にお会いしたいとのことだが、区長の想いを伺う。北斎基金について、2つの定期預金が期間満了となるが、今後の基金の運用について伺う。北斎美術館を中心としたまちづくり計画で、両国地域を1つのまとまりとして考えるとしているが、駐車場対策はどのように考えているのか。

小布施町にある北斎館との連携は重要である。小布施町長と面識もあるので、改めてお会いする機会を設けたい。北斎基金は、施設の整備及び運営に必要な資金に充てるとしている。議会とも相談の上、どの時点で基金を活用していくのか検討する。江戸東京博物館の駐車場利用等を相談している。また、公共交通機関の利用や民間駐車場の活用を周知していく。

災害発生時の給水拠点の分配体制はどのようになっているのか。大規模災害が発生した場合、職員はお互い住んでいる区に参集することを区長に提案してはどうか。

東京都は、居住場所からおおむね半径2キロメートル内に1か所を目安に給水拠点を配置している。指揮命令系統の課題や区によって職員数のアンバランスが生じることから、本区は初動対応に当たる職員を約750人指定し、万全な態勢をとっている。

本人の同意が得られれば、墨田区文化祭で入選した作品を区内の公的施設に展示してはどうか。展示場所や管理する人員の確保の負担が発生するなど課題があるが、墨田区文化連盟と協議する。

横川小学校の優れた研究発表に対する認識について



墨田オンブズマン 大瀬 康介

横川小学校で「身近な社会事象に関心をもち、考えたことを表現する児童の育成」をテーマとした公開授業・研究発表会が行われた。本区の実現現場では、子どもたちが厳しい国際競争社会を生きぬくために、必要なスキルを身に付けさせるための試みが行われている。このような取組や研究は非常に重要であり、全ての区立学校に導入する必要があると考える。この試みについて率直な意見を伺う。また、今、子ども達に何を教えるべきか伺う。

横川小学校の研究は、「知・徳・体」のバランスのとれた教育のうち、社会的事象をとらえる「知」と、論理的な思考を成立させるための「徳」を視点とした実践である。一人ひとりが互いの良さを認め合い、尊重しながら、自己実現を図り、よりよい社会を築く力を身に付けられるようにすることは大変重要であり、その具現化を目指していく。今年度はそのほかにも、墨田中学校で実施している八広幼稚園、緑・第一寺島小学校でも国語やICTを活用した研究等の発表を計画しており、各園・学校の研究成果を引き続き、広く周知していきたい。

横川小学校の駅等に設置されているエスカレーターを駆け上がった利用者が放置され大変危険である。全国の鉄道事業者等が実施したキャンペーンの趣旨を、区としても機会を捉えてPRしていく。同時多発テロが起きたパリ市にどのような対応をとったのか。文化交流事業を行っているパリ市7区に被害現場はなかったが、早速、見舞状を送付した。

発達障害支援について問う



自由民主党 中沢 えみり

区におけるいじめ認知件数調査はどのように行われているのか。また、いじめ認知件数と発達障害との関連性について調査しているのか。発達障害は早期発見が重要であり、区で実施している1歳6か月児健診・3歳児健診の中でどのような対応をしているのか。3歳児健診の際に、発達障害に関する分かりやすい冊子を全保護者に配布してほしい。乳幼児健診の際に、「ゲイズファイナダー」(注視点検出装置)による子どもの発達特性に関する研究を導入し、区の現状を調査してはどうか。

各小・中学校に毎月、調査照会を行い、教育委員会で集約して実態把握を行っている。いじめと発達障害の関連性の調査については、難しい点もあるが、今後対応を検討していきたい。課題が認められた場合は、まずは心理相談の利用を勧め、必要場合は専門医相談や療育機関の紹介を行っている。今年度「発達障害庁内連携会議」を開催し、マニュアル等を作成する。その中で、区民に分かりやすい案内等を作成し、乳幼児健診等で周知するほか、関係部署に配布し、誰もが相談しやすい体制づくりを進めていく。新しい研究でもあるため、どのような効果があるかを注視し、研究していく。

東京オリンピック・パラリンピックの前後に、区内の公園及び児童遊園を利用した墨田区国際芸術祭トリエンナーレ又はビエンナーレの開催を提案し、実現への意気込みを伺う。国際文化観光都市を目指す本区の文化プログラムとしてふさわしいもの一つではないかと考えており、実現に向けて検討していく。

住宅マスタープランの改定に当たり、子育て世帯の家賃軽減策等を提案する



公明党 はねだ 福代

国は、親世帯と子世帯が近くに住む場合の家賃割引や同居するための自宅リフォーム費を補助する方針を決め、UR近居割の拡充や子育て世帯を対象に地域優良賃貸住宅制度の見直しも検討している。UR都市機構が実施した「近居割ワイド」と同様のサービスを区内の公社賃貸住宅や都民住宅・区民住宅に拡充すべき。国の補正予算の動向にもよるが、一部の公的賃貸住宅と民間住宅との近居も割引の対象に拡充し、子育て世帯の家賃軽減と墨田区に転入・定住していただく施策を実施すべき。住宅確保要配慮者に対する住宅供給について、空き家やNPO法人等と、いつ頃までに居住支援協議会を設置するのか。

国が検討している近居、同居向けの優遇策については、その動向を見ながら検討していく。公社賃貸住宅や都民住宅への制度導入についても、東京都住宅供給公社や東京都へ要請していく。UR都市機構では、近居割ワイドや既存の子育て世帯への住宅供給を実施していないため、実施するよう働きかけていく。子育て世帯への家賃助成等については、国の動向を見ながら検討していく。多様な団体との連携・推進が強く求められているため、円滑な住宅供給に向けて、関係団体との具体的な仕組みづくりについて、次期住宅マスタープランの策定に盛り込み、速やかに実施していく。

今後の認知症対策について、全庁挙げた取組体制が必要と考え、区長の考えを伺う。区の基本計画の重要課題の一つに位置付け、関連部署の連携を強化し、総合的に事業を推進する。

中和小学校における制服の導入について問う



新しいすみだ 井上 ノエミ

中和小学校では来年度の春から全員に制服が導入されると聞いた。制服は値段が高く、家庭の経済的な負担を増やす。今定例会でも同僚議員が児童の貧困について心配し、議論をしている。今、教育委員会が考えなければいけないことは、どうやって家庭の負担を減らすかということである。負担を増やすような制服の導入は理解に苦しむ。同校は学校の差別化をしたことで学校の差別化を図るべきである。学校には、教育内容を充実することに真剣に取り組んでほしい。

中和小学校の標準服の導入については歴代のPTA会長を中心に提案があり、地域等との話し合いなどを経て140周年記念事業の一環として取り組んでいる。地域とともに歩む学校として、また、「学校の誇り」の表現として取り入れたものであり、「礼儀正しき」「まじめな態度」等のシンボルの一つと考え、学校が導入を決定した。平成28年度から標準服が導入されることを学校から新1年生の保護者に説明するとともに、在籍している児童には強制するものではないこと等を配慮し、地域の協力も得ながら導入していく。

施設のお老朽化への対応は、計画的に行っていく。新しい生活介護訓練施設には、肢体不自由な方が入る入浴設備の整備も必要である。新たな生活介護施設の整備の際には、入浴サービスの実施を検討する。

特別委員会の活動

観光対策等調査特別委員会

開会日 11月10日(火)

「墨田区観光振興プラン」の「戦略Ⅳ」について

「墨田区観光振興プラン」の戦略Ⅳ「水都すみだの再生」をテーマにし、調査・検討しました。

委員からは、「イルミネーションも含めて北十間川の護岸を築き上げる空間にできないか」「舟運の目的は、乗ることとイベント的な要素の2つの考え方があってはならないか」「水辺をキーワードに人を集め、組織化してアイデアを会議で募るのはどうか」などの意見がありました。

中学生区議会が開催されました

12月15日に平成27年度中学生区議会が開催されました。3人の中学生議員が代表質問を行った後、3つの委員会に分かれ、「子育て・高齢者」「まちづくり・防災」「産業・観光」について質疑・応答を行いました。



中学生区議会のようす